

Sunhayato

1液型室温硬化タイプの放熱シリコーン

固まる放熱用シリコーン

(SCVシリーズ)

技術資料

2011年07月28日発行

REV.1.10

SG043157



サンハヤト株式会社

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-1
☎ 03-3984-7791 FAX. 03-3971-0535
<http://www.sunhayato.co.jp>

お願いとご注意

- ・ 本資料は、電子工作や電子回路、化学分野について一般的な知識をお持ちの方を対象にしています。
- ・ 本資料に掲載している内容は、お客様が用途に応じた適切な製品をご購入、ご使用していただくことを目的としています。その使用により当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証、または実施権の許諾を意味するものではありません。また、権利の侵害に関して当社は責任を負いません。
- ・ 記載されているデータは規格値ではありません。
- ・ 本品は、一般工業用途向けに開発されたものですので、医療用途・食品・化粧品など、安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認の上ご使用の可否をご判断ください。
- ・ 体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。
- ・ 本資料の一部、又は全部を当社の承諾なしで、いかなる形でも転載または複製されることは堅くお断りします。
- ・ 全ての情報は本資料発行時点のものであり、当社は予告なしに本資料に記載した内容を変更することがあります。
- ・ 本資料の内容は慎重に制作しておりますが、万一記述誤りによってお客様に損害が生じても当社はその責任を負いません。
- ・ 本資料に関してのお問い合わせ、その他お気付きの点がございましたら、当社までお問い合わせください。
- ・ 本資料に関する最新情報はサンハヤト株式会社ホームページ（<http://www.sunhayato.co.jp/>）に掲載しております。

目次

1	はじめに	3
1.1	概要	3
1.2	特長	3
1.3	用途	3
2	特性データ	4
3	使用方法	4
4	取扱い及び保管方法の注意	5
4.1	取扱い上の注意	5
4.2	保管方法の注意	5

1 はじめに

1.1 概要

電子部品は、発熱することによりその性能がダウンします。従って、パワー transistor やサーミスター、IC や CPU などから発生する熱は外部に逃がす必要があります。本製品（室温硬化タイプ）は、熱伝導性のよい粉末を配合しており、熱源となる CPU などとヒートシンクとの間に使用することにより熱放散を向上させることができます。



1.2 特長

熱伝導性に優れています。

CPU等とヒートシンク間に塗るだけで熱伝導性を改善し、かつ固定します。

一液型室温硬化タイプの固まる放熱用シリコーンです。

適度な粘度を持ったペースト状なので、作業性に優れ、薄膜加工も可能です。

耐熱・耐寒性に優れています。

1.3 用途

パワー transistor、IC、CPUなどの半導体デバイスの放熱

樹脂封止型 transistor の放熱

transistor、整流器、サイリスターなどとヒートシンクとの間の充填

サーミスター、熱電対などの測定箇所との充填

熱機器類発熱体とヒートシンクとの間の充填

2 特性データ

項目	性能
外観	白色ペースト状
使用温度範囲	- 40 ~ 150
比重	2.26
粘度（硬化前）	108Pa・s
熱伝導率	0.92W/m・K
タックフリータイム	10 ~ 30min
硬化時間	24h
引張り強さ	4.4MPa
引張りせん断接着強さ（アルミ）	274N/cm ²
体積抵抗率	1.0 × 10 ¹⁵ ・ cm
誘電率（1MHz）	4.1
誘電正接（1MHz）	0.002
絶縁破壊強さ	28kV/mm

* データは規格値ではありません。

3 使用方法

塗布面の汚れ等を洗浄し、十分に乾燥させてください。

ヘラなどを使い、接着面の一方の面全体に薄く均等に塗ってから、もう一方を密着させてください。

塗膜を厚くするときは気泡が混入しないように注意し、接着面の両面に塗り接着してください。

密着させた場合は10～30分である程度まで硬化しますが、物理的特性を発揮する完全硬化には24時間かかりますので、硬化するまでは接着物を固定してください。

気泡が塗膜内に残留したまま硬化すると熱伝導率が低下するので、接着する際には、空気が混入しないように注意してください。

軟質塩ビ、ポリエチレン、ポリプロピレン、テフロンなどは接着しにくいです。

4 取扱い及び保管方法の注意

4.1 取扱い上の注意

引火性なので、火気に注意して下さい。

換気の良い所で使用して下さい。

眼や皮膚に付着した場合、炎症をおこす恐れがありますので、使用するときには必要に応じて保護具を着用して下さい。

素材の性質や経時劣化により、一部のプラスチック・塗装・ゴム・印刷面などは、破損や変質する恐れがありますので注意して下さい。

用途以外には使用しないで下さい。

人体や動植物には使用しないで下さい。

ご使用に際しては、取扱い説明書、製品安全データシートを熟読の上、お取り扱いくださるようお願いいたします。MSDSはサンハヤト株式会社ホームページ (<http://www.sunhayato.co.jp/>) からダウンロードできます。

4.2 保管方法の注意

残余廃棄物は、専門の産業廃棄物処理業者に委託するなどして処理して下さい。

ご使用後は容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管して下さい。

**放熱用シリコン SCV シリーズ
技術資料**

発行日 2011年07月28日 Rev1.10

発行 サンハヤト株式会社 化学製品開発部

住所 〒174-0056 東京都板橋区志村3丁目31番20号

©2011 Sunhayato Corp. All rights reserved. Printed in Japan.

SG043157
